Panasonic

映像コミュニケーションソフト DV@Talk

品番 VW-DTC1

取 扱 説 明 書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■お願い■

ユーザー登録につきましては、下記URL (パナソニックビデオのホームページ) でオンライン登録を受け付けております。

パナソニックビデオのホームページ：

http://www.panasonic.co.jp/avc/video/

VQT9342

もくじ

はじめに

特長 3
ご使用の前に 4
最初にお読みください 4
内容物の確認 4
使用上のお願い 4
動作環境 5
対象パソコン仕様 5
用意するもの/使用するための条件 5
DV@Talkのインストール 6
DV@Talkをアンインストールするときは 7
MSN Messenger ServiceやNetMeetingを
インストールしたときは 8
快適にお使いいただくために 9
DV@Talkの起動前に必要な設定 9
DV@Talkに必要な設定 9
その他 10

使ってみよう

アクセスする 11
ビデオカメラとパソコンの接続 11
アクセス方法 11
Ⓐ-a ダイヤルアップネットワークを
使用する場合(プロバイダー経由) 12
Ⓐ-b 専用接続ソフトウェアを使用する
場合(プロバイダー経由) 14
Ⓑ 相手のIPアドレスを直接入力して
アクセスする場合(主にLANなど、
ネットワーク内での使用時) 16
通話する 18
とりあえず通話してみる 18
通話/DV@Talkを終了するときは 18
送信映像(画像)にフレームを
つけたいとき(フレーム) 19
送信映像としてキャラクター画像を
使用したいとき(キャラクター) 19
文字だけで通話したいとき(チャット) 20
絵や文字を描いて通話したいとき
(ホワイトボード) 21
ファイルを転送したいとき 22
送信する映像(画像)/音声について 23
受信する映像(画像)/音声について 23
録画した映像(画像)を送る
(当社製ビデオカメラご使用時のみ) 24
映像(画像)の送信をやめるときは 24
ビデオカメラをDV@Talkから操作する
(当社製ビデオカメラご使用時のみ) 25

便利な機能

アクセスメンバーを登録する 27

その他

画面について 28
[相手の画面]ウィンドウ 28
[自分の画面]ウィンドウ 29
こんなときは･･･(Q&A) 30
用語解説 31
索引 31
DV@Talkの使用許諾書 ..... 裏表紙

特長

お手持ちのデジタルビデオカメラとインターネットを使って、テレビ電話のように相手の顔や声を確かめながら、通話できるソフトウェアです。デジタルビデオカメラをお持ちでない場合も、チャットなどでお楽しみいただけます。(プロバイダーへの接続料金と電話料金が必要です)

ライブ動画通信

テレビ電話のように、ビデオカメラに映っている映像をリアルタイムで相手に送って通話することができます。音声もビデオカメラのマイクを通して送られます。

ビデオカセットテープ動画通信/静止画通信

ビデオカメラで記録した映像/カードのメモリー画像などを送ることができます。
(当社製ビデオカメラご使用時のみ)

オリジナル画像をキャラクターに活用

デジタルスチルカメラなどで撮影された画像など、JPEGやビットマップ形式のオリジナル画像をキャラクター画像 (P19) として使用できます。

通話相手のビデオカメラの制御機能

通話先のビデオカメラを操作することができます。(当社製ビデオカメラご使用時のみ)

チャット/ホワイトボード機能

絵や文字入力によるリアルタイムの通信がお楽しみいただけます。

無償ダウンロードサービス

DV@Talkを持っていない人と通話したい場合、その相手用のDV@TalkをPanasonicのホームページから無償でダウンロードすることができます。 (P30)

MSN Messenger ServiceやNetMeetingとの連動性

DV@TalkはMSN Messenger ServiceやNetMeetingと連動して動作するソフトウェアです。

DV@Talkをお楽しみいただくには、MSN Messenger Serviceでサインインした状態であることが必要になります。

サインインに関してはMSN Messenger Serviceのヘルプファイルをお読みください。

具体的なDV@Talkのアクセス方法については後述しています。

ご使用の前に

DV@Talkをお楽しみいただく前に、説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

最初にお読みください

- Microsoft®Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MSN® Messenger ServiceやWindows®NetMeeting®、およびMicrosoft® DirectX®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel®、Celeron™はIntel Corporationの商標または登録商標です。
- i.LINKはIEEE1394-1995仕様、およびその拡張仕様です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- お使いのパソコンの使用環境などにより本説明書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの基本的な操作、用語については説明しておりません。パソコン側の説明書などをお読みください。
- このPDF説明書では、デジタルビデオカメラを「ビデオカメラ」と略して記載しています。ただし、デジタルビデオカメラであることを明記したほうが良い場合には「デジタルビデオカメラ」としています。

通信品質や接続の確実性は、インターネット接続しているプロバイダーやMSN® Messenger Serviceなどの混雑状態やサービスの提供状態に依存します。本製品は一定の通信品質を保証するものではありません。

内容物の確認

DV@Talk(CD-ROM)

以下のようなものが入っています。

- DV@Talk
- サンプル画像
- Microsoft社製ソフトウェアのインストーラー
  (MSN® Messenger Service/Windows® NetMeeting®/Microsoft® DirectX®)
- ドライバー(ビデオカメラ用)
- PDF説明書

使用上のお願い

- DV@Talk使用中に、パソコンとi.LINK接続している機器を使用する他のソフトウェアを起動しないでください。片方、または双方のソフトウェアの動作が異常になる場合があります。また、パソコンとi.LINK接続している機器を使用する他のソフトウェアを使用中にDV@Talkを起動した場合も同様です。
  例えば、DV動画編集ソフトを使ってビデオカメラから動画をキャプチャーしているときにDV@Talkを起動した場合、キャプチャーが異常になる可能性があります。
- DV@Talk使用中に、他の機器をパソコンにi.LINKで接続したり、接続されている機器を外したりしないでください。ソフトウェアの動作が異常になる場合があります。

動作環境

DV@Talkをお楽しみいただくためには以下のような環境が必要です。

対象パソコン仕様

DV@Talkをインストールして使うには、パソコンに以下の環境が必要になります。
ただし、推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

対象OS:	プリインストールされたMicrosoft® Windows® Me (Millennium Edition) 日本語版、およびMicrosoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版
CPU:	Intel® Celeron™プロセッサ333MHz以上
ハードディスク:	50MB 以上の空き容量(インストール)
搭載メモリー:	64MB以上
ビデオ:	800×600以上/High Color(16bit)以上
インターフェース:	i.LINK端子
その他:	●サウンド機能
	● CD-ROMが読めるドライブ
必要なソフトウェア:	● MSN® Messenger Service 3.0以上(Microsoft社)
	● Windows® NetMeeting® 3.01以上(Microsoft社)
	● Microsoft® DirectX® 7.0以上(Microsoft社)

用意するもの/使用するための条件

DV@Talkをお楽しみいただくために、以下のものをご用意ください。

- i.LINK(IEEE1394/DV)端子付きのデジタルビデオカメラ(別売)
  (機種によっては、DV@Talkで制御できない場合があります)
- DVケーブル(別売)
- ヘッドホン(別売) :より快適にお使いいただくために(P9)

また、**以下の条件を満たしておいてください。**

- 通話したい相手のパソコンにもDV@Talkがインストール、およびセットアップされていること。
  →相手がDV@Talkを持っていない場合は30ページをご覧ください。
- インターネットに直接ダイヤルアップ接続できる状態であること。
  または、
  アクセスしたい相手と同じネットワーク上(LAN内)にいること。
- Microsoft社のMSN® Messenger Service 3.0以上/Windows® NetMeeting® 3.01以上/Microsoft® DirectX® 7.0以上がインストール済みであること。(P7)
- アクセスしたい相手を、あらかじめMSN® Messenger Serviceでメンバーとして登録しておくと便利です。(P27)

重要

インターネットにダイヤルアップ接続する場合(P12・14)でも、ファイアウォールやルーターを介して接続すると、正しくアクセスできません。(MSN® Messenger Service上のオンライン表示やインスタントメッセージの送受信は可能ですが、DV@Talkでは相手と接続できません)

また、ケーブルテレビ回線を利用してインターネットに接続する場合や、直接プロバイダーにダイヤルアップ接続する場合でも、ご利用のプロバイダーがグローバルIPを供給していない場合は正しくアクセスできません。グローバルIPに関しては、ご利用のプロバイダーに直接お問い合わせください。

DV@Talkのインストール

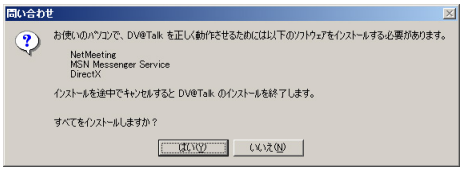
DV@Talkをインストールします。
インストールする前に、DVケーブルをパソコンから抜いておいてください。

1 DV@TalkのCD-ROMをパソコンに入れる

- 自動的にセットアッププログラムが起動します。
- 自動的にセットアッププログラムが起動しない場合は、CD-ROM内のSetup.exeをクリックしてください。

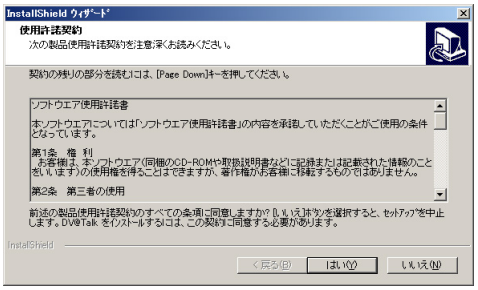
2 [DV@Talkをインストールする]をクリックする

- DV@Talkをお使いいただくために必要なソフトウェアがパソコンにインストールされていない場合、右のような[問い合わせ]画面が表示されます。この画面が表示されたときは、次ページをお読みください。



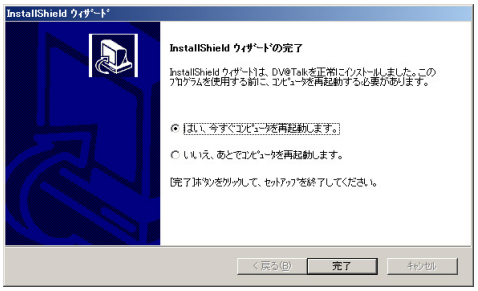
3 DV@Talkの使用許諾書が表示されますので、内容をよくお読みのうえ、[はい]をクリックする

- セットアップが始まります。



4 セットアップの終了後、[完了]をクリックする

- インストールが完了します。
- DV@Talkをお使いいただくには、一度再起動していただく必要があります。

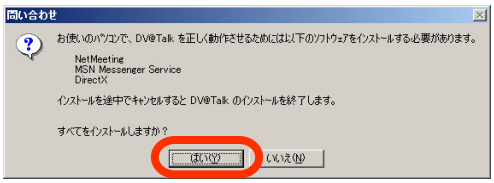


お願い/ヒント

- インストール中にドライバーの場所が不明としてメッセージが表示される場合は、DV@TalkのCD-ROM内のDriverフォルダーを指定してください。
- インストール中にご使用のOSのCD-ROMを要求される場合があります。そのときは該当するCD-ROMをパソコンに入れてインストールを続けてください。

DV@Talkのインストール (つづき)

■以下の画面が表示されたとき■

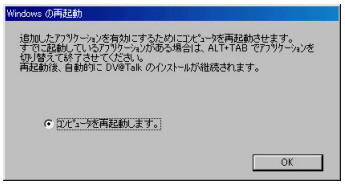


手順2の後、DV@Talkをお使いいただく上で必要なソフトウェア(MSN Messenger Service 3.0以上/NetMeeting 3.01以上/DirectX 7.0以上)がパソコンにインストールされていなかった場合、インストールする必要のあるソフトウェアが検出され、それらをインストールするかどうかの確認画面が表示されます。

メッセージにしたがって、ソフトウェアをインストールしてください。

DV@Talkはその後、インストールされます。

上記のソフトウェアのインストールが完了すると、再起動を促す画面が表示されますので、その場で画面のメッセージにしたがって再起動を行ってください。



再起動後、DV@Talkのインストールが自動的に継続され、6ページの手順3に続きます。

手順2の後、左の[問い合わせ]画面が表示されたときは:
[はい]をクリックする

■「Windows Update:Internet Explorerとインターネットツール」画面でNetMeetingをインストールする場合：
ソフトウェアの使用許諾契約書が表示されます。

1 **[同意する]を選んで、[次へ]をクリックする**
2 **[標準インストール]を選んで、[次へ]をクリックする**
●インストールが始まります。
3 **[完了]をクリックする**

■ **MSN Messenger ServiceやDirectXをインストールする場合：**
NetMeetingも一緒にインストールする場合は上記のインストール操作の後に、それ以外では[問い合わせ]画面の[はい]をクリックした後に、それぞれインストールの確認画面や使用許諾契約画面が表示されます。メッセージにしたがってソフトウェアをインストールしてください。

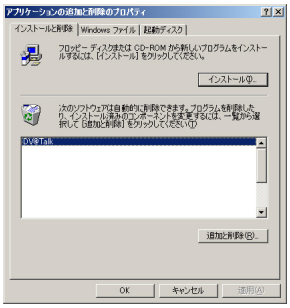
■重要■

MSN Messenger Serviceをインストール中に以下の画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして、とりあえずインストールを完了してください。詳しいセットアップに関しては、8ページで説明しています。

DV@Talkをアンインストールするときは

DV@Talkが不要になったときは、以下の方法でアンインストールを行います。

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から[アプリケーションの追加と削除]を開く**
2 **[DV@Talk]を選んで[追加と削除]をクリックし、アンインストールを進める**
●アンインストール完了後、[OK]をクリックして画面を閉じます。



お願い/ヒント

●MSN Messenger ServiceやNetMeetingなどをインストールしたときは、8ページをお読みください。

MSN Messenger ServiceやNetMeetingをインストールしたときは

MSN Messenger ServiceやNetMeetingを新たにインストールしたときや、初めて起動したとき、また、NetMeetingで必要な設定をする前にDV@Talkを起動したときなどに以下のような設定が必要になる場合があります。設定についての詳しい説明は、それぞれのヘルプファイルをお読みください。

設定は一度行うと、二回目からは同じ設定をする必要はありません。

■MSN Messenger Serviceの場合■

MSN Messenger Serviceを始めて起動したときなどに、セットアップ画面が表示されます。

表示されている内容をよく読んで先へ進む

↓

サインイン名とパスワードを入力する
●hotmailアドレスの取得が必要です。

↓

表示されている内容をよく読んで進み、設定を完了する

バージョンアップの画面が表示されるときがありますが、MSN Messenger Service 3.0以上をお使いの場合は、バージョンアップをしていただく必要はありません。

サインイン名(電子メールアドレス)やパスワードを以下に記入しておかれると便利です。

サインイン名	
パスワード	

■NetMeetingの場合■

次の場合にセットアップ画面が表示されます。
●NetMeetingで必要な設定がまだ行われていない状態で、初めてDV@Talkを起動したとき
●NetMeetingを初めて起動したとき

ユーザー情報などを入力する

↓

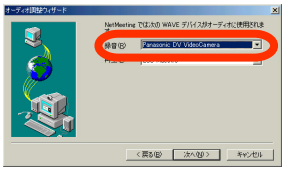
表示されている内容をよく読んで先へ進む

↓

([オーディオ調整ウィザード]画面が表示されます)
表示されている内容をよく読んで先へ進む

↓

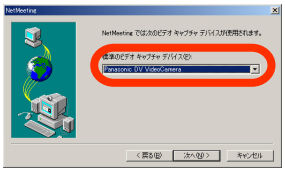
デジタルビデオカメラを接続される場合は、WAVEデバイスの選択では[録音]のデバイスを[Panasonic DV VideoCamera]にする
● [Panasonic DV VideoCamera]を選べない場合は、次ページの「DV@Talkの起動前に必要な設定」を行ってください。



↓

この後は特に何も設定せず、[次へ]を数回クリックして設定を完了する
●音声・音量などに関する設定は次ページをお読みください。
●NetMeetingが起動した場合は、NetMeetingを終了してください。

デジタルビデオカメラを接続される場合で、[標準のビデオキャプチャデバイス]を選択する画面が表示されたときは、[Panasonic DV VideoCamera]を選んでください。



快適にお使いいただくために

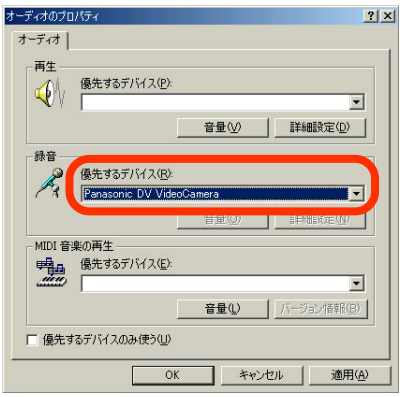
DV@Talkを快適にお使いいただくために、以下の条件や設定が必要です。

DV@Talkの起動前に必要な設定

デジタルビデオカメラを接続される場合にのみ必要な設定です。

1 タスクバーの アイコンを右クリックして[オーディオのプロパティの調整]を選び、[オーディオのプロパティ]画面を出す

2 [優先するデバイス]で[Panasonic DV VideoCamera]を選ぶ

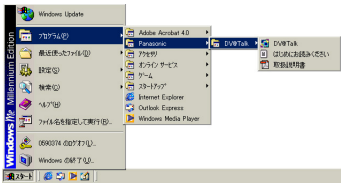


DV@Talkに必要な設定

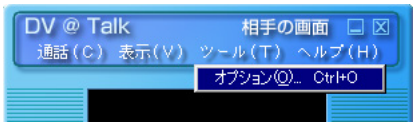
1 DV@Talkを起動する

●起動方法は以下の２つです。

- デスクトップ上の アイコンをダブルクリックする
- [スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[DV@Talk]→[DV@Talk]を選ぶ



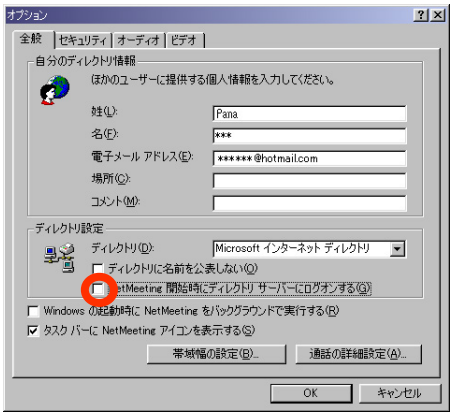
2 DV@Talkの[ツール]→[オプション]で、オプション画面を表示させる



表示されたオプション画面で、以下の設定を行ってください。

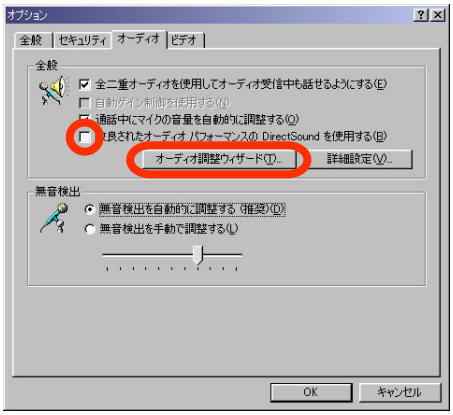
全般：

[ディレクトリ設定]で、[NetMeeting開始時にディレクトリサーバーにログオンする]のチェックをはずしておく



オーディオ：

[全般]で、[改良されたオーディオパフォーマンスのDirectSoundを使用する]のチェックをはずしておく



●[オーディオ調整ウィザード]で、再生時の音量やマイク音量などを設定することができます。

●音声はパソコンのスピーカーから聞こえますが、ヘッドホンをお使いいただいた方がよりきれいに聞こえます。

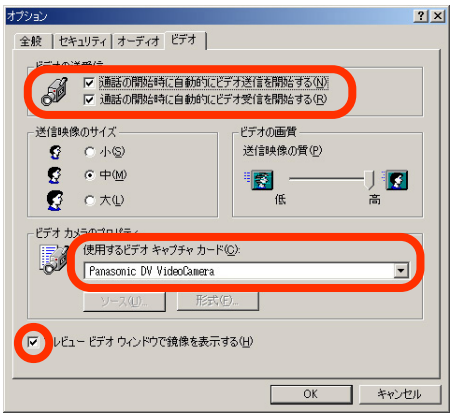
快適にお使いいただくために (つづき)

DV@Talkに必要な設定 (つづき)

ビデオ：

- [ビデオの送受信] で、[通話の開始時に自動的にビデオ送信/受信を開始する] にチェックを入れておく
- [ビデオカメラのプロパティ] で、[使用するビデオキャプチャーカード] が [Panasonic DV VideoCamera] であることを確認する

●[プレビュービデオウィンドウで鏡像を表示する] にチェックが入っているときは、送信映像ウィンドウの映像が左右反転して鏡像になります。
ただし、相手には通常の映像が送られます。



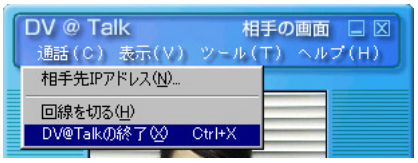
その他

●ダイヤルアップネットワークを使ってインターネットのプロバイダーへ接続する設定をしておかれることをおすすめします。
ダイヤルアップネットワークの設定については、お使いのWindowsのヘルプファイルをお読みください。

●アクセスしたい相手をあらかじめMSN Messenger Serviceでメンバーとして登録しておくと便利です。 (P27)

お願い/ヒント

DV@Talkを終了するときは、[相手の画面] ウィンドウの [通話] → [DV@Talkの終了] を選ぶ



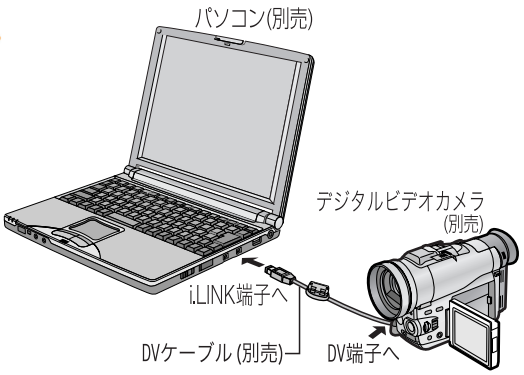
アクセスする

通話したい相手にアクセスします。

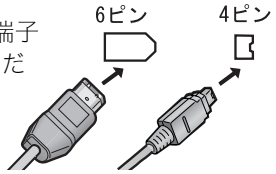
ビデオカメラとパソコンの接続

映像 (画像) や音声を送信してテレビ電話のようにお楽しみいただくためには、図のようにパソコンとビデオカメラをDVケーブル (別売) で接続する必要があります。

- ビデオカメラの電源は、ACアダプターをご使用ください。
- ビデオカメラにテープを入れてご使用の場合は、カセットの誤消去防止つまみを「SAVE」側にしておいてください。



DVケーブルは、パソコンの端子の形状に合わせてお選びください。



アクセス方法

DV@Talkを使って相手にアクセスするには、以下の方法があります。

A インターネットのプロバイダーを経由してアクセスする場合 (P12・14)

a) ダイヤルアップネットワークを使用する場合

b) ダイヤルアップネットワーク以外の専用接続ソフトウェアを使用する場合

B 相手のIPアドレスを直接入力してアクセスする場合 (主にLANなど、ネットワーク内での使用時) (P16)

A-a ダイヤルアップネットワークを使用する場合 (プロバイダー経由)

ビデオカメラをパソコンに接続
↓
DV@Talkを起動
↓
ダイヤルアップネットワークでプロバイダーへ接続
↓
MSN Messenger Serviceが起動
↓
アクセスする相手を選んで「招待」
↓
START

A-b 専用接続ソフトウェアを使用する場合 (プロバイダー経由)

ビデオカメラをパソコンに接続
↓
専用接続ソフトウェアでプロバイダーへ接続
↓
MSN Messenger Serviceが起動
↓
アクセスする相手を選んで「招待」
↓
DV@Talkが自動的に起動
↓
START

B 相手のIPアドレスを直接入力してアクセスする場合

ビデオカメラをパソコンに接続
↓
DV@Talkを起動
↓
IPアドレスを直接入力
↓
START

アクセスする (つづき)

アクセス方法 (つづき)

A-a ダイヤルアップネットワークを使用する場合 (プロバイダー経由)

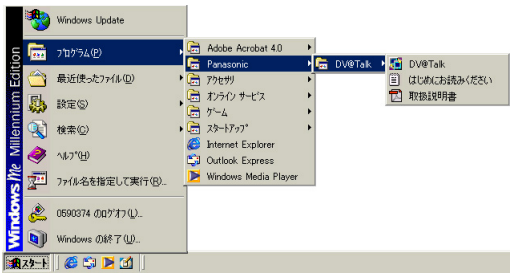
- パソコンを起動し、撮影モードにしたビデオカメラを接続しておいてください。
- アクセスしたい相手にも、MSN Messenger Serviceでサインインしておいてもらってください。

1

■アクセスする (招待する) 側■

DV@Talkを起動する

- 起動方法は以下の２つです。
  - デスクトップ上の DV@Talk アイコンをダブルクリックする
  - [スタート] → [プログラム] → [Panasonic] → [DV@Talk] → [DV@Talk] を選ぶ



2

■アクセスする (招待する) 側■

[接続] をクリックする

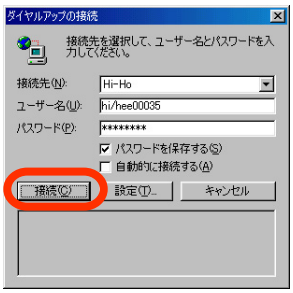
- [ダイヤルアップの接続] 画面が表示されます。

3

■アクセスする (招待する) 側■

接続先を確認して、[接続] をクリックする

- プロバイダーへの接続が開始されます。
- [ダイヤルアップの接続] 画面に表示される内容は、設定されているプロバイダーによって変わります。



4

■アクセスする (招待する) 側■

MSN Messenger Serviceが自動的に起動し、サインインが始まります。

[オンライン] 中からアクセスする相手を選び、右クリックで [招待] → [Panasonic DV@Talk] を選ぶ

- MSN Messenger Serviceが自動的に起動しない場合は、メッセンジャー起動をクリックして起動させ、サインインしてください。

●次ページへつづく●

アクセスする (つづき)

アクセス方法 (つづき)

A-a ダイヤルアップネットワークを使用する場合 (プロバイダー経由) (つづき)

5

■招待された側■

「○○があなたを招待しています」というメッセージが画面右下に表示されます。

メッセージをクリックする

インスタントメッセージ画面があらわれ、確認メッセージが表示されます。

[承諾] をクリックする

●DV@Talkが自動的に起動します。

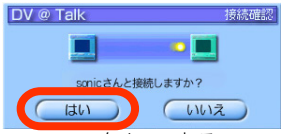
6

■アクセスする (招待する) 側■
■招待された側■

接続を確立するかどうかの確認画面が表示されます。

アクセスする (招待する) 側が [はい] をクリックする

- ビデオカメラに映っているリアルタイムのライブ映像が、[相手の画面] ウィンドウと [自分の画面] ウィンドウ両方に映ります。
- [いいえ] をクリックすると、アクセスが完了しません。その場合は、もう一度、12ページの手順2からやり直してください。



アクセスする (招待する) 側の画面

招待された側の画面

[相手の画面] ウィンドウ

招待された側の映像 (画像) が映ります

[自分の画面] ウィンドウ

招待する側の映像 (画像) が映ります

お願い/ヒント

- NetMeetingなどのセットアップ画面が表示されたときは、内容をよく読んで設定を行ってください。 (P8)
- 手順4で、MSN Messenger Serviceの [ツール] → [招待する] → [Panasonic DV@Talk] → [その他] を選び、相手の電子メールアドレスを入力する方法もあります。入力する電子メールアドレスは、相手がMSN Messenger Serviceに登録しているアドレスを入力してください。
- 手順4で、相手をNetMeetingで招待した場合、ビデオカメラでの通信はできません。
- 相手がMSN Messenger Serviceでサインインしていない場合はアクセスできません。
- 手順5でアクセスを拒否したいときは、[辞退] をクリックしてください。
- DV@Talkの起動には、少し時間がかかる場合があります。
- 音声はパソコンのスピーカーから聞こえますが、ヘッドホンをお使いいただいた方がよりきれいに聞こえます。

アクセスする (つづき)

アクセス方法 (つづき)

A-b 専用接続ソフトウェアを使用する場合(プロバイダー経由)

- パソコンを起動し、撮影モードにしたビデオカメラを接続しておいてください。
- アクセスしたい相手にも、MSN Messenger Serviceでサインインしておいてもらってください。

1 **■アクセスする(招待する)側■**

ご利用のプロバイダーへ接続する

2 **■アクセスする(招待する)側■**

MSN Messenger Serviceを起動して[オンライン]中からアクセスする相手を選び、右クリックで[招待]→[Panasonic DV@Talk]を選ぶ

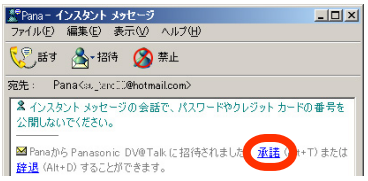
3 **■招待された側■**

「○○があなたを招待しています」というメッセージが画面右下に表示されます。

メッセージをクリックする

インスタントメッセージ画面があらわれ、確認メッセージが表示されます。

[承諾]をクリックする



- 招待した側と招待された側両方でDV@Talkが自動的に起動します。

●次ページへつづく●

お願い/ヒント

- NetMeetingなどのセットアップ画面が表示されたときは、内容をよく読んで設定を行ってください。 (P8)
- 手順2で、MSN Messenger Serviceの[ツール]→[招待する]→[Panasonic DV@Talk]→[その他]を選び、相手の電子メールアドレスを入力する方法もあります。

  入力する電子メールアドレスは、相手がMSN Messenger Serviceに登録しているアドレスを入力してください。
- 手順2で、相手をNetMeetingで招待した場合、ビデオカメラでの通信はできません。
- 相手がMSN Messenger Serviceでサインインしていない場合はアクセスできません。
- 手順3でアクセスを拒否したいときは、[辞退]をクリックしてください。

アクセスする (つづき)

アクセス方法 (つづき)

A-b 専用接続ソフトウェアを使用する場合 (プロバイダー経由) (つづき)

4

■アクセスする (招待する) 側■
■招待された側■

接続を確立するかどうかの確認画面が表示されます。

アクセスする (招待する) 側が [はい] をクリックする

- ビデオカメラに映っているリアルタイムのライブ映像が、[相手の画面] ウィンドウと [自分の画面] ウィンドウ両方に映ります。
- [いいえ] をクリックすると、アクセスが完了しません。その場合は、もう一度、14ページの手順2からやり直してください。

アクセスする (招待する) 側の画面

招待された側の画面

[相手の画面] ウィンドウ

招待された側の映像 (画像) が映ります

[自分の画面] ウィンドウ

招待する側の映像 (画像) が映ります

使ってみよう

お願い/ヒント

- DV@Talkの起動には、少し時間がかかる場合があります。
- 音声はパソコンのスピーカーから聞こえますが、ヘッドホンをお使いいただいた方がよりきれいに聞こえます。

アクセスする (つづき)

アクセス方法 (つづき)

B 相手のIPアドレスを直接入力してアクセスする場合(主にLANなど、ネットワーク内での使用時)

●パソコンを起動し、撮影モードにしたビデオカメラを接続しておいてください。

1

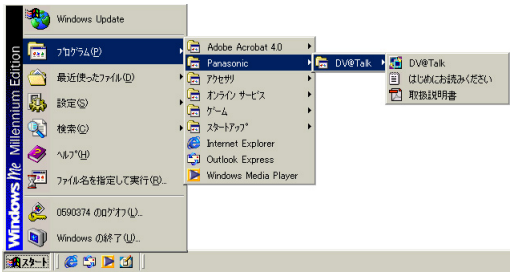
■アクセスする(招待する)側■

■アクセスされる側■

DV@Talkを起動する

●起動方法は以下の２つです。

- デスクトップ上の DV@Talk アイコンをダブルクリックする
- [スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[DV@Talk]→[DV@Talk]を選ぶ



2

■アクセスする側■

[通話]→[相手先IPアドレス]を選ぶ

● 相手先IPアドレス入力画面が表示されます。

3

■アクセスする側■

アクセスする相手のIPアドレスを入力し、[OK]をクリックする

●次ページへつづく●

お願い/ヒント

- NetMeetingなどのセットアップ画面が表示されたときは、内容をよく読んで設定を行ってください。(P8)
- 相手がDV@Talkを起動していない場合はアクセスできません。
- 自分のIPアドレスは画面メニューの[ヘルプ]→[バージョン情報]を選ぶと調べることができます。(P28)

アクセス方法 (つづき)

B 相手のIPアドレスを直接入力してアクセスする場合 (主にLANなど、ネットワーク内での使用時) (つづき)

4

■アクセスする側■

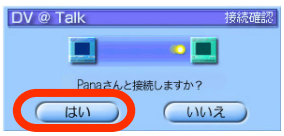
■アクセスされる側■

接続を確立するかどうかの確認画面が表示されます。

アクセスされる側が [はい] をクリックする

- ビデオカメラに映っているリアルタイムのライブ映像が、[相手の画面] ウィンドウと [自分の画面] ウィンドウ両方に映ります。
- [いいえ] をクリックすると、アクセスが完了しません。その場合は、もう一度、16ページの手順2からやり直してください。

アクセスする側の画面



アクセスされる側の画面

[相手の画面] ウィンドウ

アクセスされる側の映像 (画像) が映ります

[自分の画面] ウィンドウ

アクセスする側の映像 (画像) が映ります

お願い/ヒント

- 相手が同一のネットワーク上にいない場合はアクセスできません。
- 音声はパソコンのスピーカーから聞こえますが、ヘッドホンをお使いいただいた方がよりきれいに聞こえます。

通話する

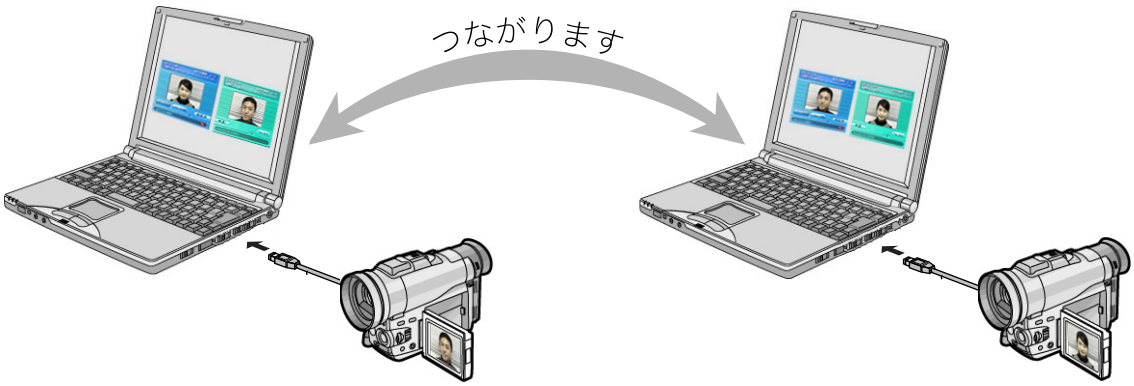
映像(画像)や文字などで相手と通話します。

とりあえず通話してみる

●通話したい相手にアクセスしておく(P11〜17)

1 **ビデオカメラのマイク部分に向かって会話する**

●ヘッドホンを使用しない場合は、音声がパソコンのスピーカーから聞こえます。



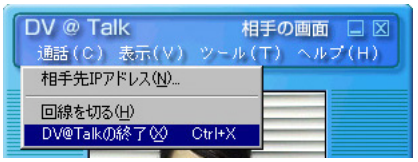
通話/DV@Talkを終了するときは

1 **[相手の画面]ウィンドウの[切断]をクリックして接続を切る**

2 **[相手の画面]ウィンドウの[通話]→[DV@Talkの終了]を選ぶ**

●DV@Talkが終了します。

●インターネットの接続を切断するかどうかの確認画面が表示されます。切断する場合は[はい]を、そのまま接続を維持する場合は[いいえ]を選んでください。



お願い/ヒント

●ビデオカメラは撮影モードにしておいてください。

●テレビ電話のようにお使いになる場合は、ビデオカメラに送信したい対象が映っていることを確認してお使いください。

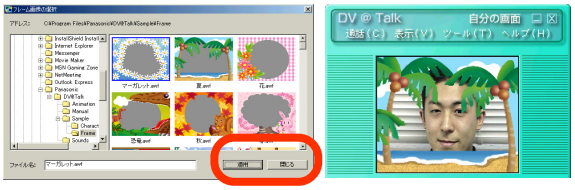
●送受信される映像と音声は、3秒ほどずれる場合があります。

送信映像(画像)にフレームをつけたいとき(フレーム)

映像にフレームをつけて送ることができます。

背景を隠したいときなどに便利です。

フレームには、DV@Talkの中にフレーム画像として入っている画像のみお使いいただけます。



1 **[自分の画面] ウィンドウの [▼] をクリックする**

- [自分の画面] ウィンドウのオプション画面が開きます。

2 **[フレーム] の [選択] をクリックし、[フレーム画像の選択] 画面を表示させる**

3 **表示させたいフレーム画像を選んで [適用] を押す**

- [自分の画面] ウィンドウに、選択したフレーム画像が表示されます。

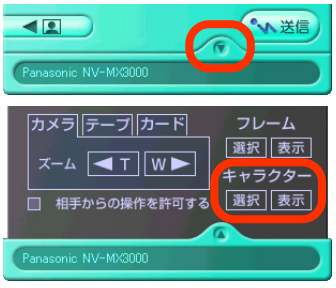
4 **[閉じる] をクリックし、[フレーム画像の選択] 画面を閉じる**

- [表示] のクリックで、フレーム画像の表示･非表示を切りかえます。

送信映像としてキャラクター画像を使用したいとき(キャラクター)

ビデオカメラをお持ちでない場合などに、送信映像としてキャラクター画像を使用して送ることができます。

キャラクター画像はプリセットされている画像の他に、デジタルスチルカメラなどで撮影されたオリジナル画像もご利用いただけます。



1 **[自分の画面] ウィンドウの [▼] をクリックする**

- [自分の画面] ウィンドウのオプション画面が開きます。

2 **[キャラクター] の [選択] をクリックし、[キャラクター画像の選択] 画面を表示させる**

3 **表示させたいキャラクター画像を選んで [適用] を押す**

- [自分の画面] ウィンドウに、選択したキャラクター画像が表示されます。

4 **[閉じる] をクリックして [キャラクター画像の選択] 画面を閉じる**

- [表示] のクリックで、キャラクター画像の表示･非表示を切りかえます。

お願い/ヒント

- ご利用いただける [キャラクター] のオリジナル画像は、JPEGやビットマップ形式で作成されたものに限ります。
- フレーム機能は、ビデオカメラが接続されている場合にのみお使いいただけます。

通話する (つづき)

文字だけで通話したいとき(チャット)

文字の入力だけで相手と通話することができます。

1 **[相手の画面] ウィンドウの [▼] をクリックする**

- [相手の画面] ウィンドウのオプション画面が開きます。

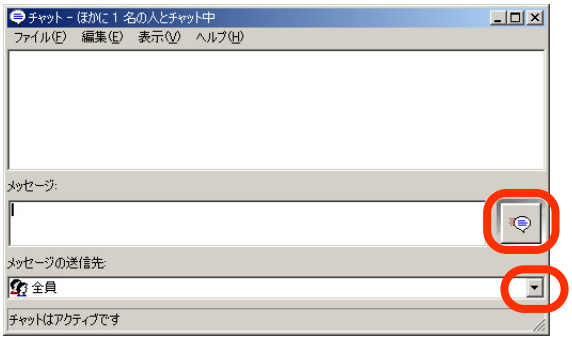
2 **左下の [⌨] をクリックする**

- チャット画面が表示されます。

3 **[メッセージの送信先] の [▼] をクリックしてチャットする相手を選ぶ**

4 **[メッセージ] ボックスに通話したい内容を文字入力し、右横の [💬] をクリックする**

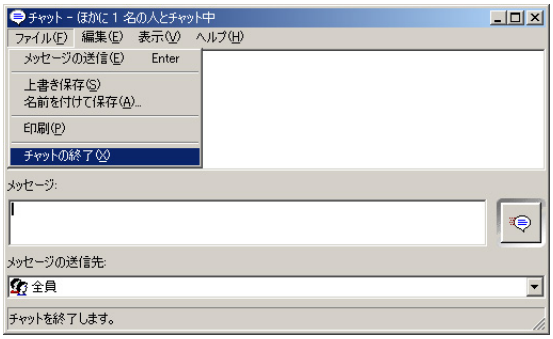
- [メッセージ] の上のボックスに、チャット内容が表示されます。



チャットを終了するときは:

[ファイル] → [チャットの終了] を選ぶ

- チャットの内容を保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存する場合は [はい] を選び、ファイル名と保存場所を指定してください。



お願い/ヒント

- チャット中も、ビデオカメラからの映像 (画像) や音声は送受信されています。
- チャットについての詳しい説明は、NetMeeting のヘルプファイルをお読みください。

絵や文字を描いて通話したいとき(ホワイトボード)

絵や文字をホワイトボードに描いて、相手と通話することができます。

1 **[相手の画面] ウィンドウの [ ] をクリックする**

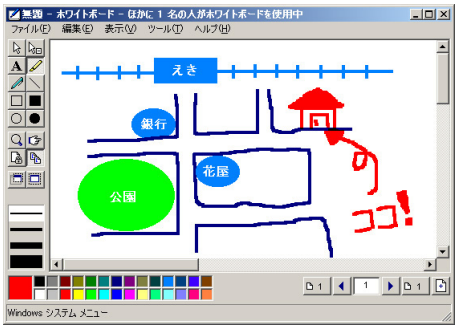
- [相手の画面] ウィンドウのオプション画面が開きます。

2 **[ ] をクリックする**

- ホワイトボード画面が表示されます。

3 **ツールを使って、絵や文字を描く**

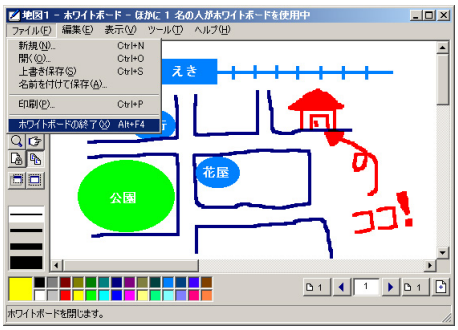
- ホワイトボード上に通話内容 (絵や文字など) が表示されます。
- 相手先でもホワイトボードが自動的に起動して、同じ内容が表示されます。



ホワイトボードを終了するときは:

[ファイル]→[ホワイトボードの終了] を選ぶ

- ホワイトボードの内容を保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存する場合は [はい] を選び、ファイル名と保存場所を指定してください。



お願い/ヒント

- ホワイトボード使用中も、ビデオカメラからの映像 (画像) や音声は送受信されています。
- ホワイトボードについての詳しい説明は、NetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

通話する (つづき)

ファイルを転送したいとき

相手にファイルを転送することができます。

1 **[相手の画面] ウィンドウの [▼] をクリックする**

- [相手の画面] ウィンドウのオプション画面が開きます。

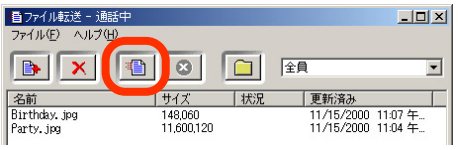
2 **[ ] をクリックする**

- ファイル転送画面が表示されます。

3 **右上の [▼] をクリックしてファイルを転送する相手を選ぶ**

4 **[ ] をクリックして、転送するファイルを選ぶ**

- [ファイル] → [ファイルの追加] でも、転送するファイルを選べます。



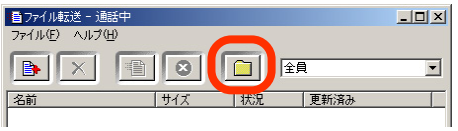
5 **[ ] をクリックする**

- ファイルがすべて転送されます。

受信側で転送されたファイルを確認するときは:

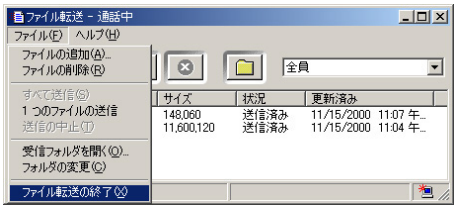
受信側でファイル転送画面を開き、[ ] をクリックする

- 転送されたファイルが入っているフォルダが開きます。



ファイル転送画面を終了するときは:

[ファイル] → [ファイル転送の終了] を選ぶ



お願い/ヒント

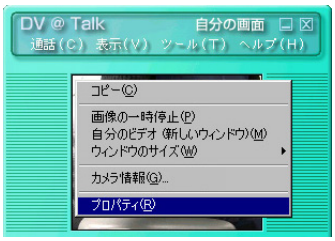
- ファイルの転送中も、ビデオカメラからの映像(画像)や音声は送受信されています。
- 転送するファイル名は半角英数字のものにしてください。
- ファイル転送についての詳しい説明は、NetMeetingのヘルプファイルをお読みください。
- 通信状況、またはファイルのサイズや種類によっては、ファイル転送できない場合があります。

通話する (つづき)

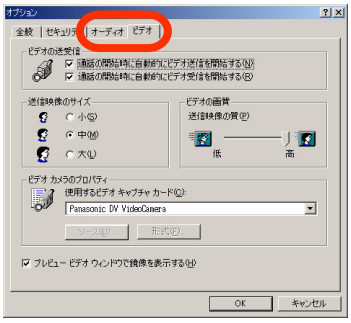
送信する映像(画像)/音声について

サイズや画質、音声などについての設定は送信側で行います。

1 [自分の画面] に映っている映像(画像) 部分を右クリックして[プロパティ]を選ぶ



2 [ビデオ] または[オーディオ]タブを選び、それぞれ必要な設定をする



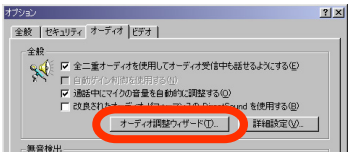
受信する映像(画像)/音声について

ウィンドウサイズは拡大・縮小できます。

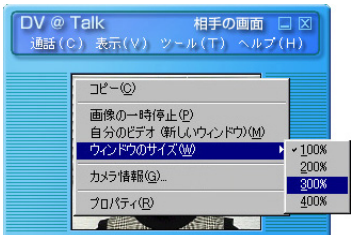
ただし、ウィンドウサイズを大きくすると画質が劣化します。

音声・音量は、オプション画面/オーディオ調整ウィザードで調整できます。

●オプション画面は、[相手の画面] に映っている映像(画像) 部分を右クリックして[プロパティ]を選んでください。



●受信映像(画像) 部分を右クリックして[ウィンドウのサイズ]を選び、任意の拡大・縮小率(100～400%) を選んでください。



[相手の画面]・[自分の画面] ウィンドウに映っている映像(画像) 部分を右クリックして表示されるメニューを使うと以下のことができます。

コピー: 右クリックしたウィンドウの画像部分をクリップボードにコピーできます。

画像の一時停止: 右クリックしたウィンドウの映像を一時停止状態にします。

自分のビデオ(新しいウィンドウ): 新たに別ウィンドウを開きます。

ウィンドウのサイズ: ウィンドウのサイズを変更します。

カメラ情報: マイクロソフトのホームページにつながります。

プロパティ: オプション画面を開きます。

この機能はNetMeetingの機能なので、詳しくはNetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

お願い/ヒント

● お使いの NetMeeting のバージョンによっては、プロパティ画面の「送信映像のサイズ」で「大」を選んで相手が送信していても、「大」のサイズにはなりません。また、プロパティ画面の「送信映像のサイズ」が「中」サイズで「ウィンドウのサイズ」を 200%以上、あるいは「小」サイズで 300%以上の大きさにはなりません。

録画した映像(画像)を送る(当社製ビデオカメラご使用時のみ)

ビデオカメラで記録した映像(動画)や静止画像を相手に送ることができます。

当社製デジタルビデオカメラをお使いの場合は、DV@Talkから操作を制御することができます。(P25・26)
もし、DV@Talkから制御できない場合は、手動でビデオカメラを操作してください。

1

映像(動画)を送る場合：
ビデオカメラを再生モードにする

静止画像を送る場合：
ビデオカメラをカード再生モードにする

2

ビデオカメラで再生を始める
- 再生映像(画像)が送信されます。

制御時に機能制限のある機種について

お使いのビデオカメラによっては、DV@Talkから制御できない場合があります。その場合は手動でビデオカメラを操作してください。制御できないビデオカメラの場合、オプション画面の制御部分が選べないようになっています。右表が制御できない主なビデオカメラの一覧です。

- 当社製以外のデジタルビデオカメラでは、リアルタイムのライブ動画通信のみできます。

NV-DE3	NV-DS5
NV-DJ100	NV-DS7
NV-DS80K	NV-C1
NV-C2	NV-DS9

映像(画像)の送信をやめるときは

映像(画像)の再生を停止する

- テレビ電話としてリアルタイムのライブ映像を送信したいときは、ビデオカメラを撮影モードに戻してください。

お願い/ヒント

- 再生/カード再生モードで映像(画像)を送っているときは、マイクからの音声は送受信されません。その場合は、チャット(P20)かホワイトボード(P21)をお使いください。

ビデオカメラをDV@Talkから操作する(当社製ビデオカメラご使用時のみ)

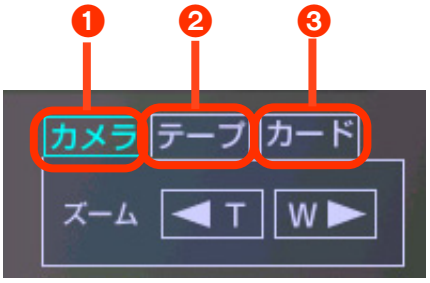
ビデオカメラの操作モードの変更や、画面の拡大・縮小、再生操作などをDV@Talkから制御することができます。また、相手側のビデオカメラを制御することもできます。

送信側/受信側の制御したいビデオカメラ映像(画像)の映っているウィンドウのオプション画面を出しておいてください。

- オプション画面は、[/]をクリックして開いてください。
- 相手側のビデオカメラを制御するときは、相手の[自分の画面]ウィンドウ-オプション画面中の[相手からの操作を許可する]にチェックを入れておいてもらってください。

操作モードの変更

操作モードの切りかえは、変更したいモードのタブをクリックしてください。

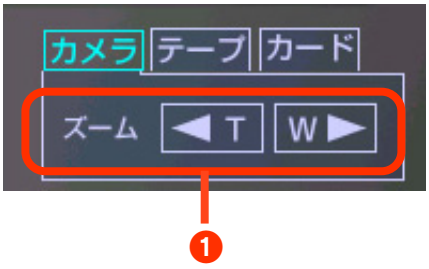


1 カメラ: ビデオカメラに映っているリアルタイムのライブ映像(画像)を送るときのモードです。(撮影モード)

2 テープ: ビデオカメラで記録したテープ映像を再生して送るときのモードです。(再生モード)

3 カード: ビデオカメラで記録したカードのメモリー画像を再生して送るときのモードです。(カード再生モード)

カメラモード(撮影モード)



1 ズーム T: 大きくズームイン

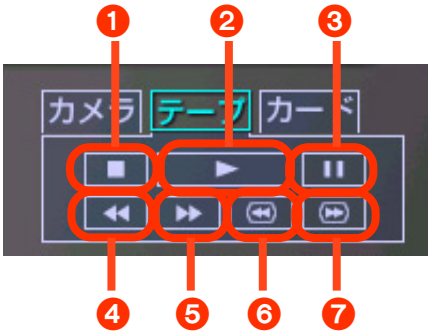
W: 広く(広角に)ズームアウト

お願い/ヒント

- テープを入れた状態でカメラモード(撮影モード)で使用される場合は、カセットの誤消去防止つまみを「SAVE」側にしておいてください。

ビデオカメラをDV@Talkから操作する(当社製ビデオカメラご使用時のみ) (つづき)

テープモード(再生モード)



1 停止: テープ走行を停止します。

2 再生: テープの再生をします。

3 一時停止: 静止画再生をします。

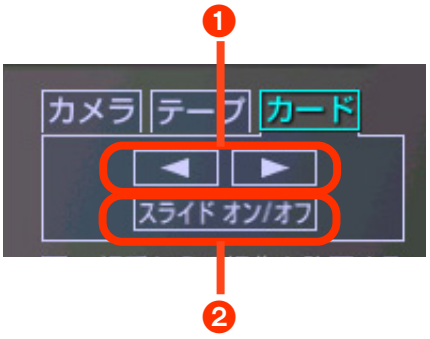
4 巻戻し: テープの巻戻しをします。

5 早送り: テープの早送りをします。

6 巻戻し再生: 巻戻し再生をします。

7 早送り再生: 早送り再生をします。

カードモード(カード再生モード)



1 メモリー再生: カードのメモリー画像を送り/戻しします。

2 スライド オン/オフ:
カードのメモリー画面を数秒間ずつ連続再生したり、その再生を止めたりします。

お願い/ヒント

- DV@Talkからビデオカメラを制御する場合のボタン操作は、ビデオカメラ本体のボタン操作とは異なる場合があります。
- 再生/カード再生モードで映像(画像)を送っているときは、マイクからの音声は送受信されません。その場合は、チャット(P20)かホワイトボード(P21)をお使いください。

アクセスメンバーを登録する

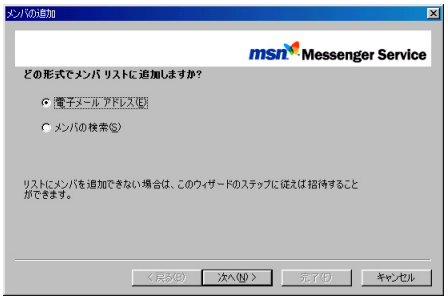
頻繁にアクセスする相手をメンバーとして登録しておくと便利です。
メンバーの登録は、DV@Talk側ではなくMSN Messenger Service側で行います。

1 MSN Messenger Serviceで、[ファイル]→[メンバの追加]を選ぶ

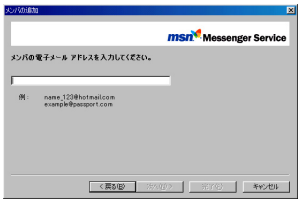
2 メンバリストへの追加形式を選んで、[次へ]をクリックする

電子メールアドレス:
相手の電子メールを入力して登録

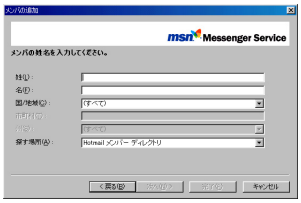
メンバの検索:
相手の姓名から検索して登録



3 それぞれの画面で必要な項目を入力して、[次へ]をクリックする



[電子メール]画面



[メンバの検索]画面

4 [完了]をクリックして、メンバー登録を終了する

お願い/ヒント

- 電子メールアドレスでメンバー登録される場合は、相手がMSN Messenger Serviceに登録しているアドレスを入力してください。
- メンバー登録についての詳しい説明は、MSN Messenger Serviceのヘルプファイルをお読みください。

画面について

[相手の画面] ウィンドウ

❶ オプション画面を開きます。
❷ 相手との通話を切断します。
❸ ダイヤルアップネットワークで接続します。
❹ 受信状態/受信側の接続状態を表示します。
❺ [自分の画面] ウィンドウを表示させます。
❻ 相手の機器を操作できるかどうかを表示します。
❼ オプション画面を閉じます。
❽ スピーカーやマイクの音量を調節します。

❾ 通話メニュー

相手先IPアドレス:

相手のIPアドレスを直接入力します。

回線を切断:

相手との通話を切断します。

DV@Talkの終了:

DV@Talkを終了します。

❿ 表示メニュー

自分の画面:

[自分の画面] ウィンドウの表示/非表示を切りかえます。

⓫ ツールメニュー

オプション:

NetMeetingのオプションを表示します。

詳しくはNetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

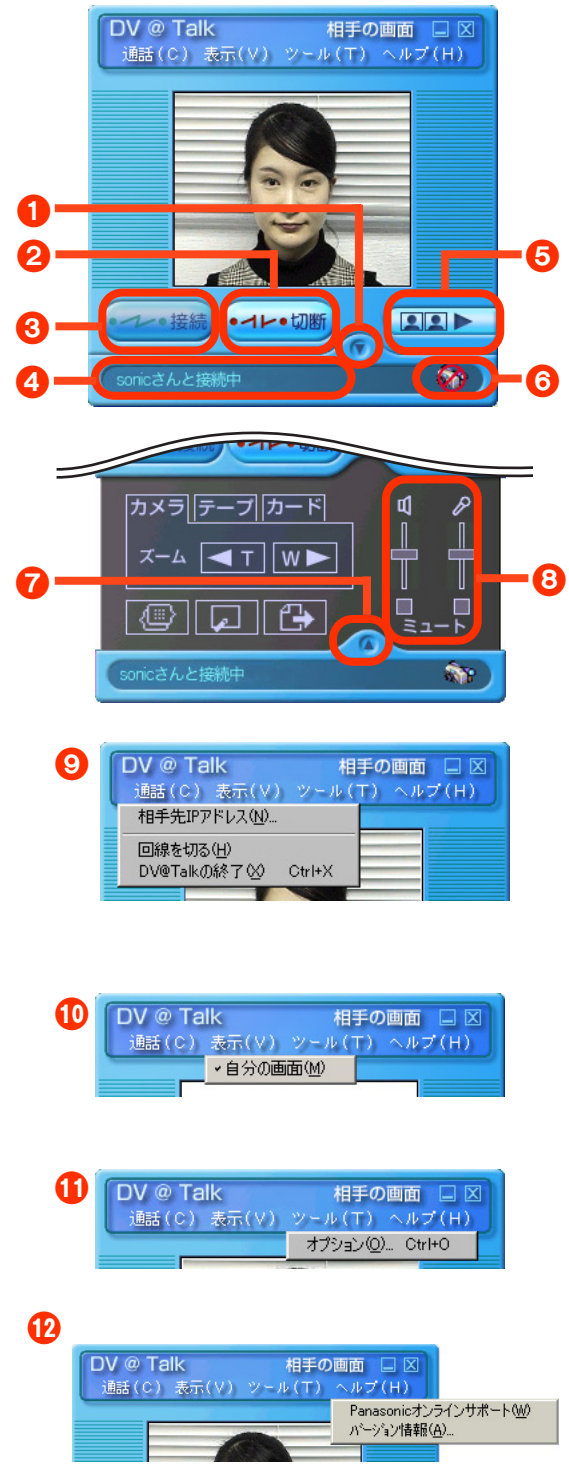
⓬ ヘルプメニュー

Panasonicオンラインサポート:

インターネットに接続していると、Panasonicのホームページ画面が表示されます。

バージョン情報:

- 現在お使いのソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
- 自分のパソコンのIPアドレスが表示されます。



画面について (つづき)

[自分の画面] ウィンドウ

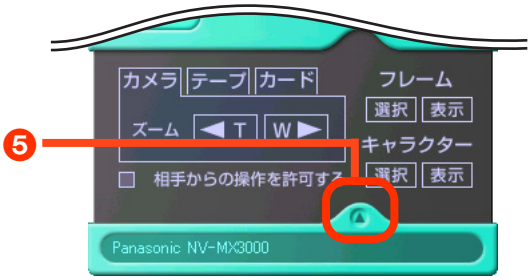
❶ オプション画面を開きます。

❷ [自分の画面] ウィンドウを非表示にします。

❸ 接続しているビデオカメラを表示します。

❹ 自分のビデオカメラ映像の表示･非表示をきりかえます。

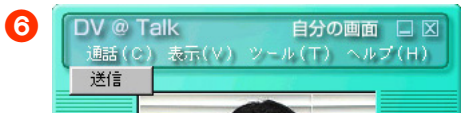
❺ オプション画面を閉じます。



❻ 通話メニュー

送信:

自分のビデオカメラ映像の表示･非表示をきりかえます。



❼ 表示メニュー

Messenger Service:

MSN Messenger Serviceを起動させます。

❽ ツールメニュー

オプション:

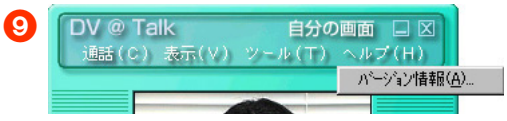
NetMeetingのオプションを表示します。

詳しくはNetMeetingのヘルプファイルをお読みください。

❾ ヘルプメニュー

バージョン情報:

- 現在お使いのソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
- 自分のパソコンのIPアドレスが表示されます。



こんなときは・・・(Q&A)

よく起こるトラブルについて説明しています。

接続

相手につながらない

- 相手がMSN Messenger Serviceでサインインしていない場合はアクセスできません。
- インターネットにダイヤルアップ接続する場合、ファイアウォールやルーターを介して接続すると、正しくアクセスできません。

  また、直接プロバイダーにダイヤルアップする場合でも、ご利用のプロバイダーがグローバルIPを供給していない場合は正しくアクセスできません。グローバルIPに関しては、ご利用のプロバイダーに直接お問い合わせください。

通話

映像(画像)が映らない

- ビデオカメラの接続や操作モードなどの設定を確認してください。
- DV@Talkで相手を正しく招待できているか確認してください。

音声が聞き取りにくい

- ヘッドホンをご使用ください。

その他

スタンバイなどの省電力モードで電源が切れない

- DV@Talkの起動中はドライバーが動いているため、省電力モードから電源を切ることはできません。

パソコンがスタンバイ、または休止状態にならない

- DV@Talkの起動中は、スタンバイ、または休止状態にならない場合があります。

接続している当社製デジタルビデオカメラの機種名が[UNSUPPORTED]になっている

- 当社のホームページで最新情報をご確認ください。

  パナソニックビデオのホームページ：
  http://www.panasonic.co.jp/avc/video/

通話したい相手がDV@Talkを持っていない

- Panasonicのホームページに無償ダウンロード版[DV@Talk SP]をご用意しております。通話したい相手にそのページのURL(http://www.panasonic.co.jp/avc/video/support/download/dvtalk.htm)を連絡し、そこからダウンロードしてもらってください。

  ホームページは、[相手の画面]ウィンドウの[ヘルプ]→[Panasonicオンラインサポート]を選んでも表示されます。

用語解説

IPアドレス

インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューター1台1台に割り振られた識別番号のことです。

ダイヤルアップ

電話回線を利用した接続のことで、インターネットへの接続方法のひとつにダイヤルアップIP接続があります。電話回線(アナログまたはISDN)でプロバイダーと接続し、インターネットの利用に必要なIPアドレスなどを一時的に提供してもらいます。

プロバイダー

主に、インターネット接続サービスを提供する通信事業者のことです。

LAN

Local Area Network の略。オフィス内や学校内など、限定された場所でのコンピューターネットワークのことです。

ファイアウォール

インターネットを利用する際のセキュリティのひとつ。インターネットからLANへの不法な侵入を防ぐ目的で、LANと外部のネットワーク（インターネット)の間に立ち、やりとりされるデータのすべてを規制して認められているプロトコルやデータ以外は通過できないようにします。

ルーター

ネットワークの中継装置。異なる２つ以上のネットワークが接続され、ある１つのネットワークから来たデータを、その宛先アドレス（IPアドレス）に基づいて適切な別のネットワークへ送出するという役目を持っている。通常は、このときにIPアドレスが変換されます。

NetMeeting/MSN Messenger Service

Microsoft社のインスタントメッセージング用ソフトウェアのことです。

インスタントメッセージング

インターネット接続しているユーザー同士で、簡単なメッセージをやりとりできるサービスのことです。

索引

ア行

[相手の画面] ウィンドウ ..... 13･28

カ行

カメラモード 25
カードモード 26
キャラクター 19

サ行

[自分の画面] ウィンドウ ..... 13･29
招待 ..... 12･14
接続 11

タ行

ダイヤルアップ接続 12
チャット 20
テープモード 26

ハ行

ファイル転送 22
フレーム 19
ホワイトボード 21

マ行

メンバの追加 27

アルファベット順

IPアドレス ..... 16･31
MSN Messenger Service ..... 8･31
NetMeeting ..... 8･31

DV@Talkの使用許諾書

開封前に必ずお読みください。
DV@Talk以外の製品については、インストール時に表示される使用許諾に同意してください。

このソフトウェア製品については下記の「ソフトウェア使用許諾書」に同意していただけることが使用の条件となっております。お手数ではございますが、ディスクの包装を開封される前に「ソフトウェア使用許諾書」を十分にお読みください。ディスクの包装を開封された場合にはお客様が「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウエア使用許諾書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件となっています。

第１条　権利

お客様は、本ソフトウエア(同梱のCD-ROMや取扱説明書などに記録または記載された情報のことをいいます)の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウエアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウエアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピュータ

本ソフトウエアは、コンピュータ１台に対しての使用とし、複数台のコンピュータで使用することはできません。

第５条　変更及び改造

本ソフトウエアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第６条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウエアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話でお問い合せください。お問い合せの本ソフトウエアに関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改良などの情報をお知らせいたします。但し、これにより弊社がお客様によりお問い合わせいただきました不具合を完全に修正することを保証するものではありません。

第７条　免責

本ソフトウエアに関する弊社の責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウエアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第８条　輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

販売元： 松下電器産業株式会社　ビデオ事業部
〒５７１－８５０４
大阪府門真市松生町１番１５号

■ お問い合わせ先

お客様ご相談センター　0120-878-365（パナは　365日）
フリーダイヤル(料金無料)　365日／受付9時～20時

松下電器産業株式会社
ビデオ事業部
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

放送システム事業部
〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号

© Matsushita Electric Industrial Co　Ltd　（松下電器産業株式会社）2001